

# 地区広報 芸術の森

題字 平澤 博

第24号

平成24年11月30日

発行 地区広報・芸術の森  
編集委員会

印刷 株式会社孔版社



## 札幌芸術の森との連携で関連事業を進めます

芸術の森地区連合会 会長 関 口 明

早いもので冬将軍も間近に迫って来ましたが、皆様にはご健勝でお過ごしのこととお喜び申し上げます。

さて、本地区には札幌芸術の森と称するように芸術関連施設として札幌市を代表する施設空間を有しています。地区音楽祭や文化祭を芸術の森で開催していることは周知のことですが、このたび札幌芸術の森との間で地域連携協定を結ぶこととしました。

この協定を結ぶことにより長年お世話になっていた“芸術の森地区音楽祭”をはじめ、本年度18回目を迎える“芸術の森地区文化祭”、新しく取り組んだ“真駒内川のヤマメ稚魚の放流”、平成17年より行なってきた“雪あかりの祭典”の餅つき大会の応援などを札幌芸術の森と地区連合会が一体となって進めています。

このうち、本年より進めている事業を若干紹介い

たします。

### ▼ ヤマメ稚魚の放流

本年より当連合会と札幌芸術の森が共催で2万5千尾の放流を行ないました。サクラマスとなって遡上して来るのは2年後ですが楽しみにしています。

### ▼ 芸術の森地区文化祭

平成7年より前年までの17回は、芸術の森地区会館で開催していましたが、本年は芸術の森工芸館で11月17、18日の両日開催いたしました。

地区会館の開催では会場が手狭となり、協定が結ばれた節目の年でもあり、広々とした工芸館へ会場を移すことでゆとりができて、出展数の増加にも十分対応できるものと今後も期待をしています。



## 福祉活動の輪を広げよう「見守り・訪問の日」について

芸術の森地区社会福祉協議会 会長 堀 川 昭 八

日頃から、当社会福祉協議会事業の推進について、格別のご理解ご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

私たちはこれまで、各単町福祉推進委員会、同福祉部等を基盤とし、関係者が連携・協力して「見守り・安否確認」などの日常生活支援活動を続け、その成果も少なくないところですが、札幌市における高齢化率が、超高齢社会の目安とされる21%を超える状況となり、認知症高齢者や単身世帯の増加とともに、孤立死・孤独死について、様々な報道が繰り返されるようになりましたし、地域では報道に至らないものの、同様の事案が日常的に起きるようになってきております。

このようなことから、札幌市、区・地区社会福祉協議会・地区福祉のまち推進センターでは、これまでの活動を確実にかつ力強く続ける目的で、「毎月3日を『見守り・訪問の日』と制定」することになりました。

もちろん、当地区社会福祉協議会・福祉のまち推進センターとしては、各単町福祉推進委員会、同福祉部等でこれまで行ってきた関連諸活動について、「毎月3日」にこだわる必要はなく、地域（地区）的特性等を考えたこれまでの活動を続けていただき、見守ることの大切さを共有し、その輪を広げていただきたいと思います。



## 地域の方々に支えられ感謝しながらがんばります！

芸術の森地区育成委員会 会長 前口 敦司

10月 南区育成委員施設見学会参加、アイネット教育フォーラム、育成活性化研究会参加

11月 音楽祭お手伝い、札幌市育成大会参加  
11月は活動もピークとなり、本紙に載せているように種々のイベントがあります。

私たち育成委員は子供達を取り巻くいろいろな環境に気を配りながら啓発活動や心の豊かさを育てていく活動を目指しています。

地域の皆様方には日頃育成委員会の活動にご理解とご協力頂いたたまものと厚くお礼申し上げます。さて、24年度も終盤にさしかかり委員会の活動もピークを迎えています。11月現在までの活動報告をさせていただきます。

7月21日 小学生サマーレクリエーション

8月 盆踊り他祭事パトロール

9月 森の仲間の三世代交流会お手伝い、南区育成委員全体研修会参加

### ●防犯防災部から●

## 安全・安心の街づくりをめざして

防犯防災部長 山本 悟

の考え方が不可欠です。特に「災害時要援護者避難支援」については緊急の課題であり、日頃から災害を想定した行動を考えておくことが望まれ、その為にも一人ひとりが地域と関わりを持ち、住人同士の絆を深めていくことが肝要です。

連合会としても、各種地域安全活動の推進を図ってまいります。特に将来を担う子ども達の見守り活動については、学校、保護者、地域一体となった推進が望まれる事から、皆様方の積極的な支援をお願いいたします。

今年度は、「ヒグマ」出没が相次ぎ不安な生活を余儀なくされておりましたが、幸い生命、財産を脅かすような大きな事案の発生はありませんでした。一方、相変わらずお年寄りをターゲットとした「振込め詐欺」「還付金詐欺」「悪徳商法」が横行しております。少しでも「おかしいな、不安だな」と思った時は近隣の方や警察に相談する等により、被害に合わないよう心掛けましょう。

また、災害発生時には、自らと家族の安全を確保する「自助」と地域の人たちがともに助け合う「共助」

### 福祉除雪サービスのご案内

芸術の森地区社会福祉協議会 副会長 塩田 恒雄

例年、地域の支えあいとして札幌市社会福祉協議会、札幌市が実施の「福祉除雪」は、地域の協力員の方々のご協力により実施する事業で、申し込み等は、芸術の森地区社会福祉協議会（電話：592-7144）が窓口となっております。概要は、以下のとおりです。

本年度の申込みは、11月20日現在、南区は527件で、この内、芸術の森地区が47件あり、地域協力員31名により行われます。

なお、申込みは、終了いたしました。ご利用の方は、ご相談ください。

- (1) 除雪期間 平成24年12月1日(出) ~平成25年3月25日(月)
- (2) 除雪日時 道路除雪の行われた日の午前中
- (3) 除雪の内容 間口部分（道路に要した出入口口部分）を概ね幅1.5m、敷地内は玄関先までの道路部分を歩行に支障のない80cm程度の幅を除雪。

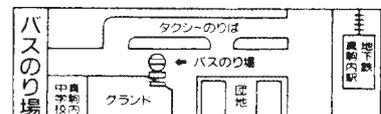
永久に生きる花と緑の明るい聖地



札幌市許認可霊園

### 無料 見学・墓参バス運行中

時間 午前 10:00  
午後 12:00  
午後 2:00



お問合せ・お申込みは 真駒内滝野霊園事務所 ☎(011)592-1223 (代表)

●交通安全部から●

### 交通安全部から街頭啓発の報告

7月24日(火)に夏の交通安全市民総ぐるみ運動に合わせて、駒岡小学校前の市道真駒内滝野線沿いで、交通安全街頭啓発が実施されました。

街頭啓発には、駒岡小学校の全校生徒・先生・父兄や地域の住民約130名が参加し、盛大な街頭啓発になりました。

開会式では、南区長などの挨拶のあとコンサドーレ札幌のマスコットキャラクター「ドーレくん」が紹介され、生徒と一緒に街頭啓発を行い、記念写真を撮るなど子供たちも大いに楽しんでいました。

小学生が参加しての街頭啓発は、交通安全の大切さを子供の頃から身につけることにより、命の大切さを



交通安全部長 金子 侑

知ってもらうことにもつながる運動なので、今後も続けていきたいと思っております。

また、9月27日(木)秋の交通安全街頭啓発が国道453線の芸術の森地区会館前で地域住民など約90名が参加して実施されました。

街頭啓発に参加いただいた皆様には、日頃から交通安全運動に対するご理解とご協力を賜り心からお礼申し上げます。

今後とも、芸術の森地区での交通事故「ゼロ」を目標に、皆様と共に活動して参りたいと思っておりますのでよろしくお願いいたします。



●女性部研修会●

### 自転車の交通事故とその責任

毎年身近な問題を取り上げ開催している研修会ですが、今年は去る7月19日(木)、自転車が引き起こす交通事故とその責任について取り上げてみました。講師には一般社団法人日本損害保険協会専任講師 上木英正氏をおよびしました。

自動車に乗る人は保険に入るなどして、この重要性を認識していますが、自転車についてはその限りではありません。今の自転車は機能も向上しスピードも出ます。自転車は



女性部長 三上 良子

軽車両です。交通ルール（警視庁による）は次の通りです。

- 留意事項 1. 自転車は、車道が原則、歩道は例外
- 2. 車道は左側を通行
- 3. 歩道は歩行者優先で、車道よりを徐行
- 4. 安全ルールを守る  
飲酒運転・二人乗り・並進の禁止・夜間はライトを点灯・信号を守る
- 5. 子供はヘルメットを着用（大人も着用が望ましい）

加害者となった場合の責任の大きさを認識するとともに、被害者にもならないよう気持ちを引き締める研修会となりました。

入所サービス  
ショートステイ

みなさまの思いにおこたえいたします

通所リハビリテーション  
介護予防通所リハビリ



医療法人 愛全会  
介護老人保健施設  
〒005-0849

# アートヒルズ

札幌市南区石山837-47



0120  
FreeDial

みんな しあわせ 365日  
**0120-348-365**



# 清掃工場は電力不足の強い味方

## 環境衛生部・女性部共催研修会

恒例の環境衛生部女性部・共催による研修会は、去る10月22日(月)芸術の森地区会館で開催されました。今年のテーマは「清掃工場ってどんなところ？」と称し、札幌市環境事業部駒岡清掃工場長 岩佐聡一郎氏の話の聞きました。



札幌市のごみ量は新ごみルール施工後74.8万t (H20) から63.1万t (H22)と、11.7万t (16%)の減となったため篠路清掃工場を廃止するに至り、清掃工場は現在3か所のみとなったこと。

清掃工場は発電所であり次の数字が表示されるとの説明がありました。

	発電能力	年間送電量(H23)	備考(売電収入)
駒岡清掃工場	2,480kw×2基	630万kwh	約4,400万円
発寒清掃工場	4,960kw×1基	1,480万kwh	約1億1千万円
白石清掃工場	30,000kw×1基	5,771万kwh	約4億2千万円

駒岡清掃工場では、ごみを燃やしてエネルギーに変え、発電し場内使用、残りは北電に送電、場内のヒーティング、暖房、冷房に活用、場外(真駒内・保養センター)への余熱供給を実施しているそうです。

活発な質問も出されました。以下はその際の質問に

対し後日回答されたものです。

① 昨年販売されたプリペイド袋の売り上げはいくらでしょうか？

約30億円でした

② 駒岡清掃工場から真駒内に送られている熱量はどの程度ですか？

当工場において管理しているのは蒸気量で、昨年供給した蒸気量は4,167t相当です。地域暖房ではガスをメインに使っているの、ごみを燃やして作った上記により、節約できたエネルギーをガスに換算すると155,846㎡になります。

③ 駒岡清掃工場における昨年の総発電量は何kwですか？

平成23年度の実績は20,010Mwhです。

研修会の最後には、牧野正巳(石山東町内会在住)さんから環境にやさしい施肥……ミミズが作った再生活力剤エコミミーの説明がありました。御寄附いただきありがとうございました。



参加者数40余名。充実した研修会でした。

(文責 環境衛生部長 齋藤・女性部長 三上)

〜くろぎの宿〜  
**駒岡**  
札幌市保養センター  
宿泊、休憩、入浴、パークゴルフ  
レストランなど低料金でご利用  
いただけます。お気軽にお越しください。

※無料送迎バスあり  
札幌市内1ヶ所のみ  
(10名様以上・要予約)

**老人クラブ機限定プラン**  
・日帰り 2,000円〜  
・宿泊 5,000円〜  
※10名様以上より承ります。

**入浴料金**  
・60才以上 300円〜  
・小学生 300円〜  
・中学生以上 400円〜  
・60才未満

**宴会プラン**  
・日帰り 2,000円〜  
・宿泊 5,000円〜  
※10名様以上より承ります。

**湯ったいプラン 12月~2月**  
1泊2食 ¥6,500〜(暖房料別途)  
※2名様以上無料送迎付  
(札幌市内1ヶ所、要予約)

TEL 011-583-8553  
FAX 011-583-8574  
札幌市南区真駒内600番地20  
指定管理者 札幌市福祉事業団  
[保養センター駒岡 検索](#)

## もりの仲間の子育てサロン

子育て支援部長 三上良子

毎月第1・第3水曜日に実施するサロンは、子供たちとお母さんたちの交流の場として毎回元気な声が響いています。小さな新しいお友達も人気者です。奥の部屋でボール遊びに夢中なのは大きくなってきたお友達です。幼稚園の話も弾んでいます。

暑い夏でした。帰りには石山緑地で水遊びを楽しむ家族もありました。

10月には春に植えたジャガイモの収穫もありました。

保育士さんとの手遊びは親子とも一緒に楽しめた時間でした。我が子が、話をする人と目を合わせ真剣に手遊びをする姿に、子供の新しい面を発見できる人もいます。



季節に合わせた行事を組んでいます。12月19日(水)はクリスマス会です。子育て、大いに楽しみましょう。サロンを気軽に活用してください。

サロン会場 芸術の森地区福祉のまち推進センター  
(南老人福祉センター内)

## みんなで楽しくすごしました

ふれあい部長 下総仁志

恒例となりました「もりの仲間の三世代交流会」も今年で10年目を迎えました。

去る9月1日、秋晴れの中、開催することが出来ました。

学校の行事の関係上、昨年より少ない参加者となってしまいましたが、良い秋晴れで散歩がてらに参加されたご高齢のご夫婦は、「久しぶりに孫のような子供たちと接することが出来、楽しかったし美味しいトウモロコシやジャガイモ、牛乳をいただき良い一日でした。」との感想を言っていました。

また、幼児と参加されたお父さん、お母さんが昨年より増えていることに、この地域の若返り、活性化を肌で感じました。若いお母さん方は、「牧場へ行こう」の冊子を見ながら子供たちと「これおいしそうだね」など会話をしている微笑ましい一瞬を垣間見ることが出来ました。



来年も子供たちの夢を絶やさないよう継続していきたいと感じたところです。

## 平成24年度 森の仲間さわやかクラブ

高齢者支援部長 目次敬紀

この行事は、芸術の森地区社会福祉協議会・福祉のまち推進センターが主催して、芸術の森地区町内の高齢者の方、健康に関心のある方等を対象に、「御自身の身体的な現状を等を確認し、健康づくり・介護予防に対する興味・関心を高める」ことを目的として行っているものです。

- 内容は：
1. 講演……認知症予防、介護予防に係る健康管理（口腔、食事…）、健康体操、など
  2. 体力測定……5m歩行、片足立ち、握力測定、体重・身長計測、血圧測定
  3. 生活機能チェック……生活機能チェックリスト
  4. 物忘れチェック
  5. 判定・相談……保健師、看護師、福祉士等の専門士が結果等に基づいて必要な人に健康相談を行う

実行に当たっては、各町内会の役員・福祉推進委員・福祉部等の人々、および南区第一包括支援センター、介護予防センター石山・芸術の森、南区保健福祉部の方々の協力を得て開催・実施しています。

- 今年度は、
1. サンブライト真駒内町内会 24年7月25日
  2. アートパークタウン町内会 24年10月21日
  3. 石山東町内会 24年11月7日
  4. 常盤一区町内会 24年11月14日
  5. 見晴、石山八区、常盤二区、滝野、真駒内二団、三団、真駒内駒岡各町内会については計画を検討中  
・ 常盤団地、駒岡団地については、自主的にされている

その他の「もりの仲間さわやかクラブ」の行事として、

1. 福祉施設の研修・見学を11月9日に実施、また南区近隣の施設見学も計画中
2. 男性を対象とした、高齢者向けの料理教室を計画中

# 第17回芸術の森地区音楽祭

主催：芸術の森地区連合会  
財団法人札幌市芸術文化財団芸術の森  
主管：常盤中学校区青少年健全育成推進会



常盤小(スクールバンド)



石山東小



札幌瓢箪会



邦楽アンサンブル「白雪」

去る11月11日(月)、第17回芸術の森地区音楽祭が開催されました。

当音楽祭は平成8年に青少年健全育成の一つとして「芸術の森地区ふれあい音楽祭」の名称で常盤中学校で開催されたものです。平成11年には芸術の森地区連合会が主催者に加わり、平成12年の第5回からは札幌芸術の森アートホールをお借りして「芸術の森地区音楽祭」として地域の人達が参加する音楽祭に発展してきました。

徐々に広がった青空の下、  
1,270名が集いました。



常盤中(吹奏楽部)



札幌大学ジャズ研究会



コーラル・ラ・フォレ



札幌ジュニアジャズスクール



常盤中(3年生)



常盤中(2年生)



常盤中(1年生、4組)

## 平成24年度 雪あかりの祭典・日程

芸術の森地区「雪あかりの祭典」は、今年で7回目を迎えます。8月6日に実行委員会を行い、今年度の日程が決まりましたのでお知らせいたします。

1. 芸術の森周辺
  - ・芸術の森、関口雄輝記念美術館：1月26日(土)
  - ・常盤児童会館：1月20日(日)
  - ・札幌市立大学：2月2日(土)
  - ・まちづくりセンター：2月3日(日)
2. 石山緑地
  - ・南老人福祉センター、見晴町内会：2月2日(土)
3. 駒岡地区
  - ・駒岡小学校：1月31日～2月1日(木・金)
  - ・保養センター駒岡：2月11日(月)
4. イルミネーション点灯：12月上旬～2月中旬

各会場では、より盛り上げるように検討をしているところです。チラシ・ポスターの準備をしていますので、出来次第回覧等いたします。なお、南区のシーニックバイウェイも協賛していますので、昨年同様に地域外へも発信していきます。

(文責 総務部)



## 第18回 芸術の森地区運動会

8月26日(日)、石山東小学校に於いて、7地区対抗の運動会が約400名の地域の皆様が多数参加され、楽しく競技が行われました。

小・中学生の徒競走に始まり、玉入れ・風船割り競技、そして当地区オリジナル競技のパークリングでは、1球打つたびに歓声が起こりました。

後半の競技の一升瓶物語・百足競争では、各チーム逆転優勝を狙い、大接戦となりました。

総合優勝は、前年度に続き見晴・八区町内会チームが、5年連続の優勝でした。

準優勝は石山東町内会、3位は滝・真・サンブライト町内会でした。

今大会も、地域の皆様のご協力により、無事に終わることが出来ました。誠にありがとうございました。

又、石山東小学校の校長先生をはじめ先生方のご協力もいただき感謝申し上げます。

来年は、常盤小学校に会場が移ります、1年後の再会を誓い大会を終えました。(体育部長 佐藤 優司)



# 第18回芸術の森地区文化祭



従来、文化の日に合わせて開催していた「芸術の森地区文化祭」は、今年から「札幌市芸術文化財団 芸術の森」の協力を得て、11月17日(土)、18日(日)に芸術の森の工芸館で行いました。ここは、まちづくりセンターの3倍ほどの広さがあり、ゆったりした会場の中で、来場された方々は地域の皆さんの力作を楽しんで鑑賞されていました。出展して頂いた皆さん、ありがとうございました。

会場の都合で、盆栽等の出展はできませんでしたが、今後も工夫をして多くの皆さんに出展・鑑賞をして頂けるようにしていきたいと思えます。今回は初日は雨、翌日はみぞれと最悪の天候でしたが、300名程の方が来場されました。  
(文責 副会長 島田 三千春)



## ふれあい行事

「ふれあい」を基調に企画実践されている事業を単位町内会別に紹介するシリーズ第9回目は滝野開拓記念碑です。

## 滝野開拓記念碑

滝野町内会地域行事を載せる予定でお願いしましたが、現在は特別の行事を行っていないということで、滝野の歴史を皆さんに紹介する意味で説明していただきました。

滝野神社境内に「開拓記念碑」が建立されている。(大正2年7月)石碑の台座には、碑の設立に寄与した当時の地域の人たちの名前が刻まれていた。正面に18名(大内著治、高井長次郎、山岸義太郎、岡部助松、渡辺末吉、松本次善、柴原茂十郎、八田仁右衛門、千葉松右衛門、国方清平、坂井九右衛門、鈴木滝三郎、山岸藤蔵、佐藤亀蔵、岡沢仲之、佐藤久二郎、庄司善太、里見幸太郎)。片面に23名の名前を連ね、外30名となっている。裏面は、後に素人が刻み込んだと思われる雑な文字で8名。単純に合計すると79名参加したことになる。



されたかは記録が定かでないが、平岸街道は早くから開かれていることから、滝野、澄川、平岸ルート説が有力である。その証とも云えるのは、滝野の住民に「長専寺(浄土宗)」(平岸三条十五丁目)や、「龍松寺(曹洞宗)」(豊平三条六丁目)に檀家がいることからそのルートが強い。

月寒村ルートにある「福住寺(浄土宗)」(福住1条1丁目)のお寺にも檀家がいることから、福住寺開教百年記念誌を開くと、明治43年頃60戸以上の民家があったと記録されている。

滝野(器械場)から常盤(土場)に通じる道路ができたのは、昭和11年頃と云われている。現在の滝野を昭和19年まで器械場の地名で呼んでいた。豊平町議会において全町の町名の見直しが行われ器械場を滝野、土場が常盤に変更された。

(豊平町史他参照)



豊平町史には「入地者の最初は明治33年に山岸、松本の2人。34年の5月に国方、岡部、八田。35年には千葉、鈴木(この2人は木びきに来て土着)、坂井などであった。これらの人々は主に石川県、福井県、高知県などの出身で、今の北広島市大曲から入った」と書かれている。当時は田畑の耕作と山仕事(薪の伐りだし、炭焼き、冬山造材、根曲竹の伐り出し)で生計を立てていた地帯であった。

明治初年、札幌大通東2丁目に開拓使工業局があって、これに関連した事業として本機を諸所より搬出したのが現在の滝野(器械場)に水車機械場を設立して、御料地より切り出した樹木の製材を行ったのが、明治12年である。どのようにして機械の搬入や製材が搬出

# 福祉を支える人 佐藤ひかる さん



## プロフィール

1969年2月、京都府宇治市で出生。  
酪農学園大学（修士課程）卒。  
札幌龍谷学園・道立札幌西陵各高校、時間講師。

家族 夫、長女、長男、次男の五人。

国営滝野すずらん丘陵公園カントリーガーデンにて、2001年の夏の開園時より、フラワーガイドボランティアとして、園内の見どころなど案内しています。

2000年に募集記事を見て、植物が好きであったことや研修でさらに学ぶことができると思い応募しました。開園前の1年間の研修を経てデビューしました。

ボランティア活動を通じてTV・雑誌の取材を受けたり、柳生真吾さんやダン ピアソンさんなど園芸業界の著名な方のガイドを体験させていただきました。

昨年からは、この会で東日本大震災の復興支援として、「ガーデンチャリティ」を始めました。公園のスタッフと会員の皆さんからの提供品などの販売で得た収益を、被災地へ寄付しています。

滝野に行くくと新しい花や珍しい植物が多く、庭造りの参考になります。ただ、慌ただしい毎日の中で自宅の庭までは手が回らない現状です。

# 第2回 サマーレクリエーション開催

by Fu'sスノーエリア・芸術の森地区青少年育成委員会

7月21日(土)、Fu'sスノーエリアで、子供たち（小学生）を対象とした2年目となる「サマーレクリエーション」を開催しました。

今年は参加者も31名と倍増し、午前中はハンターゲームで、ハンター役のスタッフも子どもたちの素早さに本気になり、子供たちの中から「大人気ない！」との声も聞かれました。お昼はバーベキューと飯ごうでの炊事、初めての飯ごう炊事体験で、おいしいご飯が炊けた組、焦げた組など様々でしたが、とても楽しい昼食となりました。

午後は、ツリーアドベンチャー、ストラックアウトなどのゲーム後、五右衛門風呂に入りました。ドラム缶のお風呂に子供たちも大はしゃぎで、大変貴重な体験となりました。

とても楽しい1日を過ごすとともに、各学年、各学校を交えての交流を深めることができました。

来年も予定していますので、是非参加して、色々な遊びを通じて交流を深め、新しい友達を作ってみてはどうでしょうか。



# 第41回 南区少年少女親善スポーツ大会

芸術の森地区青少年育成委員会

11月18日(土)、南区体育館において、青少年育成委員会が主催した第41回南区少年少女親善スポーツ大会が開催されました。

南区の小学校から31チーム、芸術の森地区からは過去最多の7チーム（石山東小5チーム、常盤小2チーム）が参加し、トーナメント方式により熱戦が繰り広げられました。

結果は、中学年の部では石山東パンサーズが3年連続優勝、高学年の部では常盤YESAチームが惜しくも準優勝でした。両チームとも接戦で勝ち上がり、決着がつかずジャンケンでの勝利もあり、好成績を残しました。

指導していただいた各小学校の先生、ご家族のみなさんありがとうございました。



中学年の部優勝 石山東パンサーズ 高学年の部準優勝 常盤YESA

# 交流「もちつき大会」の開催

幼児及び小学生と家族を対象とした恒例の交流もちつき大会を開催します。多数のご参加をお待ちしております。もちつき体験をし、お餅を食べながら交流を深めてみませんか。



日時 12月9日(日)  
幼児と家族 10時30分～11時30分  
小学生以上 11時30分～13時  
場所 常盤児童会館  
主催 芸術の森地区青少年育成委員会

※お願い 器及び箸は持参してください。

～おめでとう～

- 民生委員・児童委員表彰  
(民生・児童委員功労) (平成24年 8月 7日付)  
見晴町内会 三上 良子 様
- 北海道消防協会会長表彰  
(幼・少年消防クラブ活動) (平成24年 9月 7日付)  
芸術の森地区少年消防クラブ 様  
(代表受賞者 比内 武光 氏)
- 北海道知事感謝状  
(統計員功労) (平成24年10月25日付)  
サンブライト真駒内町内会 酒井 正人 様

初心者スキー教室の開催

芸術の森地区青少年育成委員会

1月12日(土)、Fu'sスノーエリアにおいて、小学生の初心者を対象としたスキー教室を開催します。

スキー場のコーチが親切に指導してくれますので、終わる頃には一人で斜面を降りられるまでに上達します。

詳しくは、小学校を通じてご案内しますので、一度もスキー経験がない子どもたち、大歓迎です。



写真は昨年のものです！

真駒内川改修工事の進捗状況について

真駒内川を考える会 会長 関 口 明

真駒内川改修工事は、平成23年 9月 4～6日の大雨で斜路工及び河床が一部けずられ資材等が流されました。補修工事について、平成24年 7月25日の説明会では平成24年度は予算を見ながら斜路工No. 2～8の改修工事に入る事の説明を受けました。

続いて 9月10日の第1工区工事説明会では

- 1. 工 期 平成24年 8月10日～平成25年 2月12日
- 2. 工事区間 斜路工No. 4 及び 5 (藻南学園橋付近)
- 3. 請負業者 機械開発北旺株式会社
- 4. 工事内容 根固め工 根固めブロック  
護岸工 擁壁コンクリート・石張り

続いて10月10日第2工区工事説明会では

- 1. 工 期 平成24年 9月14日～平成25年 2月28日
- 2. 工事区間 斜路工No. 6 及び 8
- 3. 請負業者 豊和建设株式会社
- 4. 工事内容 根固め工 コンクリートブロック河床  
根固め  
護岸工 根固め・放流基礎工事

更に11月20日には第3工区工事説明会も開催されました。

平成24年 9月28日には常盤人道橋下でさくら鱒2匹の俎上も確認されており、自然への回帰も少しずつではありますが期待できます。

札幌建設管理部並びに工事業者には、安全の確保と土砂排出路の除雪・砂埃等の衛生面になお一層の気配りを願いますので、工事該当地区の皆様には歩行の安全や駐車等にご注意頂くと共に、今後も工事へのご理解とご協力をよろしくお願い申し上げます。

編集後記

これまでにない熊の出没、そして9月いっぱいの猛暑と、梅雨がなく台風も少ない札幌だけにその先の薄気味の悪さといった何かを予感させるような、今年の夏場でした。

「時期来れば『山粧い』、また『山眠り』『山笑い』そして再び『山滴る』。杞憂そのもの」とは、当地に生れ育ち、喜寿を前にしなおかくしゃくたるBさんのお答えでした。音楽祭、文化祭等芸術の森地区事業たけなわ、そしてこのち雪あかりなどと続きます。

平成25年に向け、更に気をひき締めてまいります。(H)

広報「芸術の森」編集委員会

- 委 員 長 堀川 昭八
- 副委員長 三上 良子
- 委員(監査) 馬場 宏
- 委 員 島田三千春
- 委員(会計) 佐藤 宗昭
- 委 員 火山 正己